

第14回循環器病対策推進協議会

令和7年6月18日

資料 1 - 1

## 第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方について

厚生労働省

健康・生活衛生局がん・疾病対策課

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

## 全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

## 個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

### 【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備

循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

### 1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃からの国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

### 3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

### 2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

## 循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化       | (4) 都道府県による計画の策定           |
| (2) 他の疾患等に係る対策との連携            | (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化 |
| (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策 | (6) 基本計画の評価・見直し            |

### <循環器病の特徴と対策>



## 第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の進め方

中間評価について、全体目標と個別施策について、以下のとおり分析・評価を進めることとする。  
あわせて、都道府県の循環器病対策の進捗状況の公表、好事例の横展開を推進する。

### ① 全体目標について

- 2040年に向けた健康寿命の延伸の進捗状況の評価（令和6年度中に公表済）
- 2040年に向けた循環器病の男女別の年齢調整死亡率の減少の進捗状況の評価

### ② 個別施策について

- 第8次医療計画の策定指針で定めている指標例を基に、①循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、②保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実、③循環器病の研究推進のそれぞれの項目において、重点的に評価する指標（コア指標）を選定し、メリハリを付けてわかりやすく分析・評価する。
- 各施策に関する関係課室・省庁等の取組状況の把握を行う。

### ③ 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の測定・公表と好事例の横展開の推進

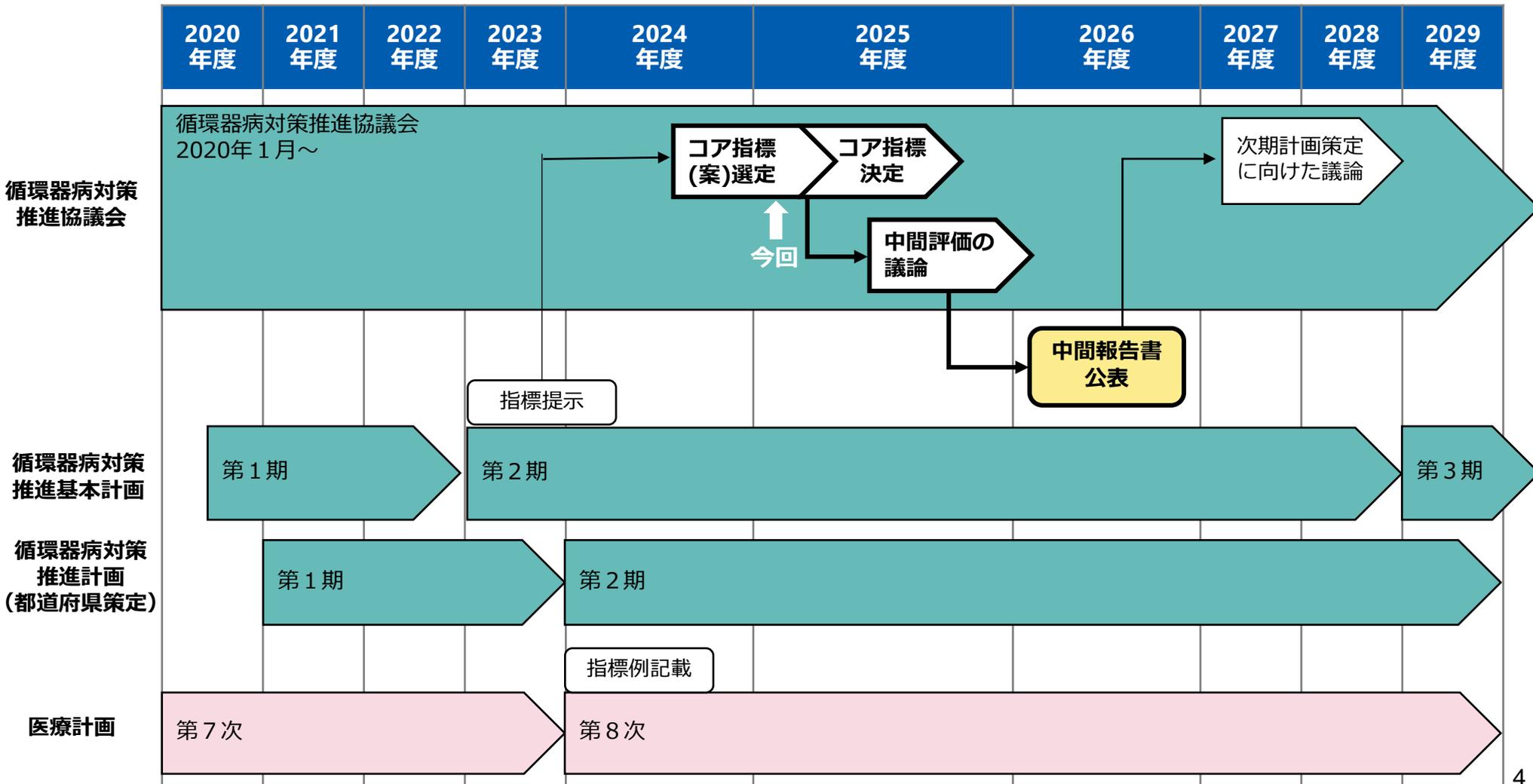
- 都道府県ごとの循環器病対策の進捗状況の評価するため、都道府県ごとに評価可能な指標については、可能な限り測定・公表をしているところ、今後、都道府県の循環器病対策を見える化しながら、地域の実情に応じたより良い取組の横展開を進める。

### 今後の進め方

- コア指標については、中間評価前（令和7年度夏頃）の協議会で指標案を示し、議論を行うこととする。
- その他、必要な検討課題（「脳卒中・心臓病等総合支援センター」のあり方等）について、個別に議論を行うこととする。

## 第2期循環器病対策推進基本計画等の今後のスケジュール

- 第2期循環器病対策推進基本計画では、計画の実行期間は令和5（2023）年度から令和10（2028）年度までの6年を目安とし、また、本計画の進捗状況を把握し管理するため、3年を目途に中間評価を行う予定。



# 脳卒中の医療体制構築に係る現状把握のための指標例

	予防・啓発	救護	急性期	回復期	維持期・生活期	再発・重症化予防	
ストラクチャー		脳卒中疑い患者に対して主幹動脈閉塞を予測する6項目(*)の観察指標を利用している消防本部数	脳神経内科医師数・脳神経外科医師数	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数		脳卒中患者の重篤化を予防するためのケアに従事している看護師数	
			脳卒中の専用病室を有する病院数・病床数			歯周病専門医が在籍する医療機関数	
			脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な医療機関数				
			● 脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数				
			脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数				
			理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のそれぞれの人数				
			リハビリテーション科医師数				
	● 脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数						
プロセス	喫煙率	脳血管疾患により救急搬送された患者数	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数	● 脳卒中患者に対する療養・就労両立支援の実施件数		脳卒中による入院が同月に摂食機能療法を実施された患者数	
	特定健康診査の実施率		脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数	脳卒中患者における介護連携指導の実施件数			
	特定保健指導の実施率		くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数				
	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率		くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数				
	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率		脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数				
			脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数				
アウトカム		救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	退院患者平均在院日数				
			● 在宅等生活の場に復帰した患者の割合				
	脳血管疾患の年齢調整死亡率						

(●)は重点指標

(\*) 脈不整、共同偏視、半側空間無視（指4本法）、失語（眼鏡／時計の呼称）、顔面麻痺、上肢麻痺 の6項目

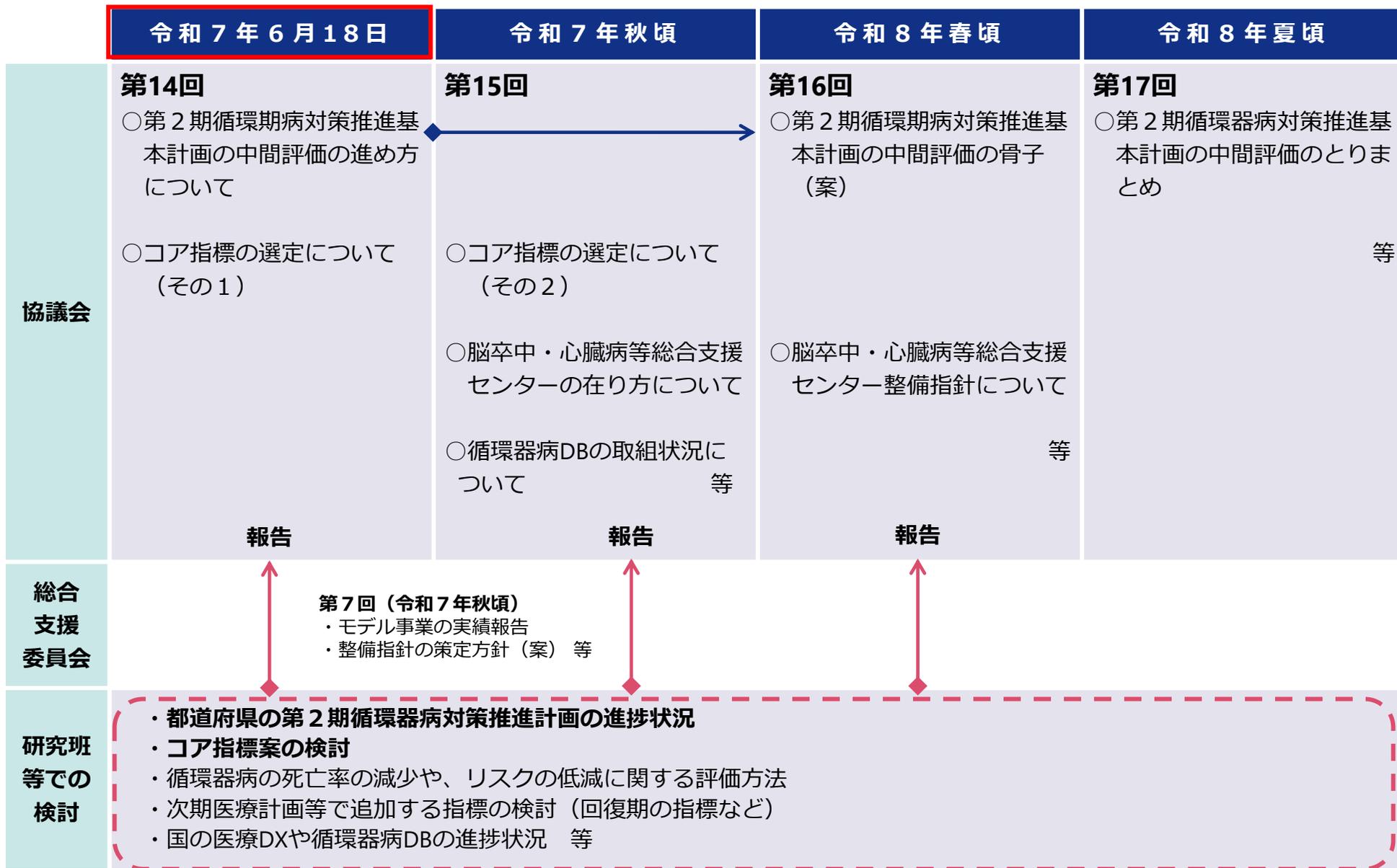
# 心筋梗塞等の心血管疾患の医療体制構築に係る現状把握のための指標例

健発0328第12号 令和5年3月28日  
別紙3を元に作成

	予防・啓発	救護	急性期	回復期	慢性期	再発・重症化予防
ストラクチャー			循環器内科医師数・ 心臓血管外科医師数	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数		慢性心不全の再発を 予防するためのケアに 従事している看護師数
			心臓内科系集中治療室（CCU） を有する医療機関数・病床数	心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数		歯周病専門医が在籍する 医療機関数
			心臓血管外科手術が 実施可能な医療機関数			
			心大血管リハビリテーション料届出医療機関数			
プロセス	喫煙率	心肺機能停止傷病者全搬送 人員のうち、一般市民による 除細動の実施件数	急性心筋梗塞患者に対する PCI実施率	心血管疾患に対する療養・就労両立支援の実施件数		
	特定健康診査の実施率	虚血性心疾患及び大動脈疾患によ り救急搬送された患者数	● PCIを施行された急性心筋梗塞 患者数のうち、90分以内の 冠動脈再開通割合		心血管疾患における 介護連携指導の実施件数	
	特定保健指導の実施率		虚血性心疾患に対する 心血管外科手術件数	心血管疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数		
	高血圧性疾患患者の 年齢調整外来受療率		大動脈疾患患者に対する 手術件数			
	脂質異常症患者の 年齢調整外来受療率		● 入院心臓血管リハビリテーションの実施件数			
				● 外来心臓血管リハビリテーションの実施件数		
アウトカム		● 救急要請（覚知）から 救急医療機関への搬送までに 要した平均時間	● 虚血性心疾患及び心血管疾患の退院患者平均在院日数			
			● 在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患及び大動脈疾患患者の割合			
	●	虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患及び心血管疾患の年齢調整死亡率				

●は重点指標

# 今後の循環器病対策推進協議会の検討スケジュール（案）



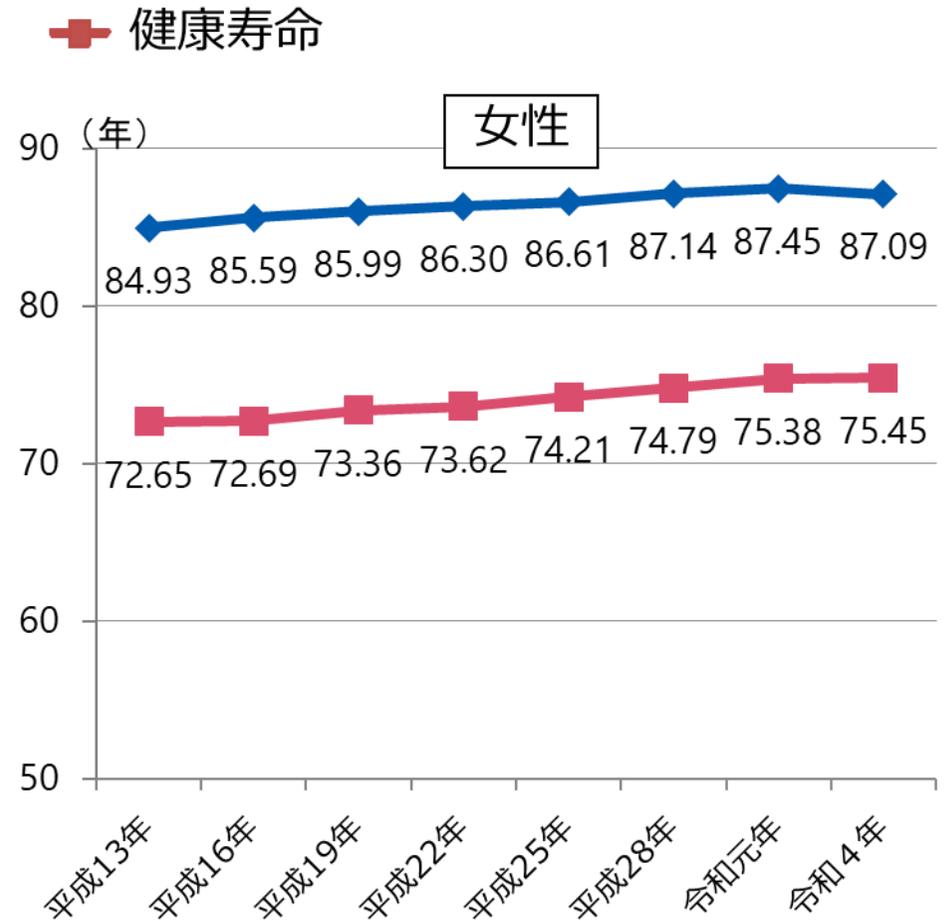
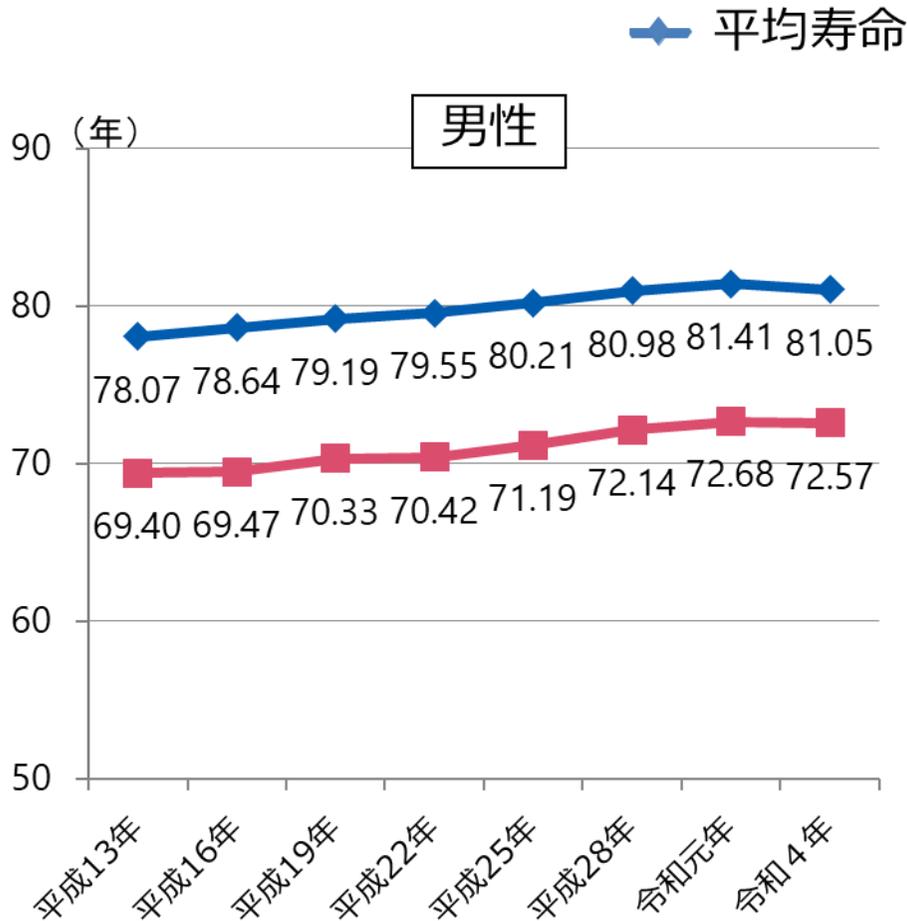
中間評価報告書及び概要公表

## 参考資料

# 平均寿命と健康寿命※の推移

※日常生活に制限がない期間の平均

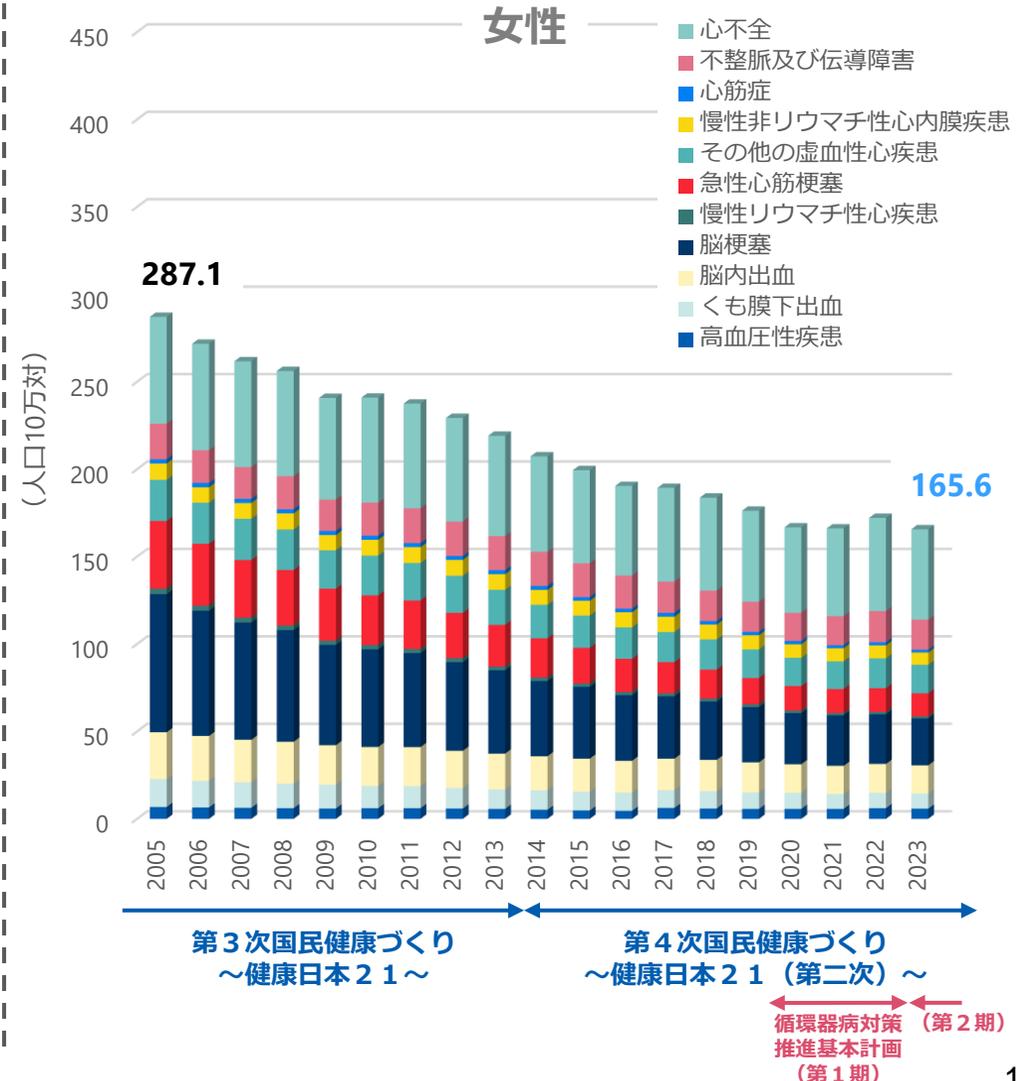
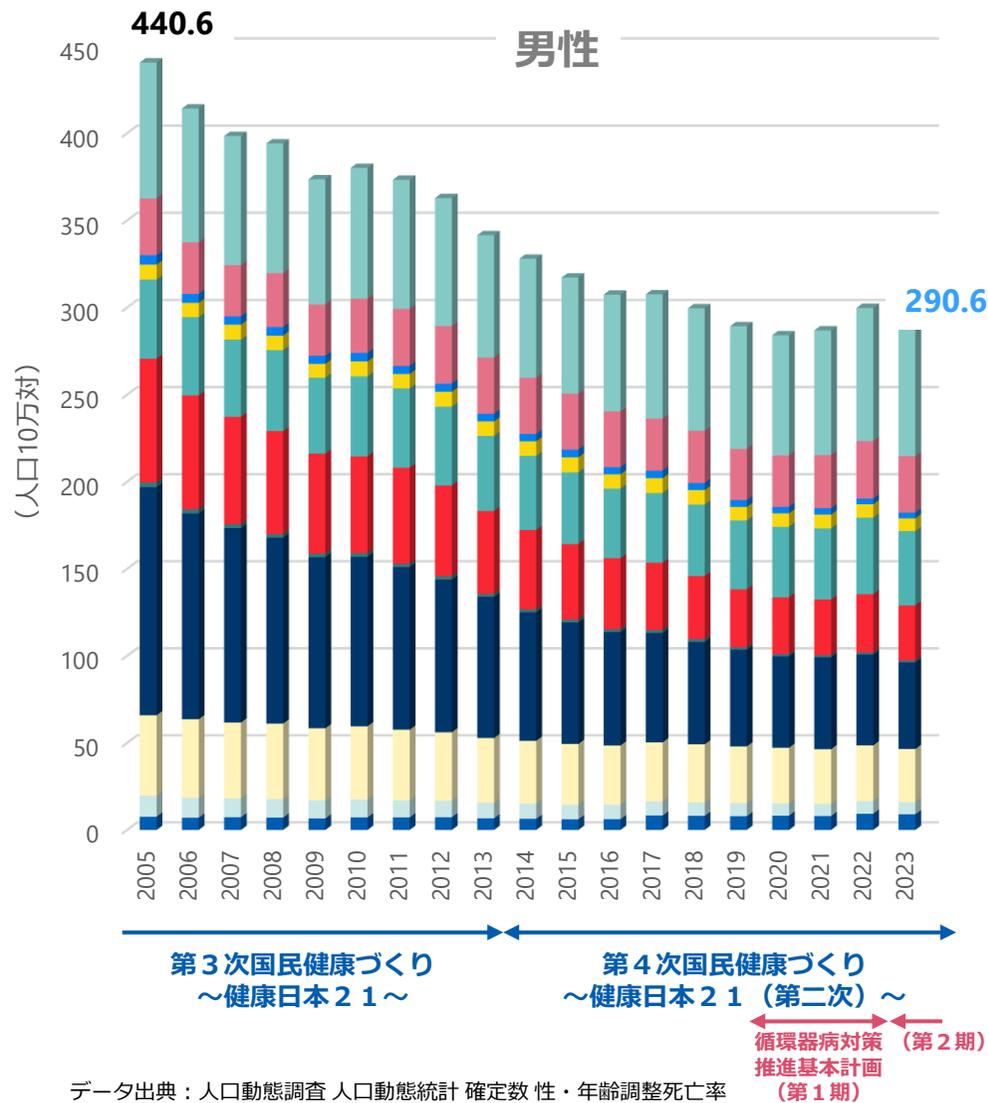
令和4年の健康寿命は、男性72.57年、女性75.45年であり、前回値（令和元年値）と比較して、男性で短縮、女性で延伸していたが、いずれも統計的に有意な差は見られなかった。



【資料】平均寿命：平成13・16・19・25・28・令和元・4年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」  
健康寿命：厚生労働科学研究において算出

# 循環器病の性・疾患別年齢調整死亡率の推移

近年、男女共に、脳梗塞、急性心筋梗塞等の年齢調整死亡率が減少している。



データ出典：人口動態調査 人口動態統計 確定数 性・年齢調整死亡率